

## 内部環境と外部環境、それぞれの観点から分析した企業や事業の特徴・課題を知る

---

### 概要

---

SWOT分析は、内部・外部環境の両面から企業・事業の特徴や課題を統合的・総合的に明らかにするものです。内部環境である強み（Strength）・弱み（Weakness）と外部環境である機会（Opportunity）・脅威（Threat）それぞれの視点から主要な要素を抽出し、示唆を導き出します。

### 実践するうえでのコツ

---

SWOT分析をするにあたっては3つのポイントがあります。①目的の明確化 ②外部・内部環境分析の事前実施 ③視野の多様性確保 ①はSWOT分析の目的を明確にして分析すること。そうすることで収集情報の取捨選択といった優先順位がつけやすくなります。②をすることで、なかなか意見が出てこない・出てきた意見が普段考えていることとあまり変わらないという課題を極小化できます。③のためには多様な人を集めたり、思考法などで努力する必要があります。

### 分析の生かし方

---

- ◇ 自社の経営／事業戦略を検討する
- ◇ 競合の経営／事業戦略を分析する

- ◇ 自社の事業／機能別戦略を検討する
- ◇ 競合の事業／機能別戦略を分析する

# SWOT分析 (強み・弱みと機会・脅威の分析)

**S**trength  
強み

内部環境。自社製品・サービスの生かすべき強みは何かを記述します。目的達成に貢献する企業内部の特性を探ります。

**W**eakness  
弱み

内部環境。自社製品・サービスを広めていくうえで、克服しないといけない弱みは何か記述します。目的達成の障壁となる弱点を探ります。

結論 (まとめ)

4つの要素の組み合わせから、自社にとっての、機会拡大や事業課題の解決方向性を考えます。強みを生かすだけでなく、弱みの補強も想定しましょう。

**O**pportunity  
機会

外部環境。自分たちではコントロールできない世の中の動きを把握し、自社にとってプラスになりうる事象や変化を記述します。

**T**hreat  
脅威

外部環境。目的を達成するために、障害やリスクとなりうる外部の脅威を記述します。

